

昭和村立東小学校 校長室・職員室だより



段丘

平成25年3月25日発行
87号(本年度最終号)

昭和東小学校 〒379-1203 群馬県利根郡昭和村糸井1287
電話 (0278) 22-2516 F A X (0278) 22-7288
メール kir013453@kagoya.net
Web ページ http://kir013453.kir.jp/

本日3月25日(月)は、多くの来賓の方々に見守られる中で、「卒業証書授与式」を粛々と執り行うことができました。卒業証書授与の場面では、24名の児童一人ひとりが呼名され、それぞれの児童が緊張した面持ちの中で、精一杯の「ハイ!」という返事をすると見届け、一人ひとりの手に卒業証書を手渡しました。全員が真剣な眼差しで、そして、しっかりと私(笛田)の目を見つめていました。児童たちがたくましく成長したことを肌で感じました。24名の児童は、すばらしい伝統を誇る本校卒業生3,917名の仲間入りをしたのです。「高い知性と豊かな情操を身に付け、たくましい意志をもった心身ともに健康な昭和の子」として更に成長していくことを願います。



あま だ 雨 垂 れ 石 を 穿 つ

～卒業式の式辞から～

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは6年間の初等教育を修了したのです。集団の中で協力し合って生活していくこと、中学・高校といった上級学校の勉強や社会に出てから必要となる基礎的な知識・技能を習得しました。今日は巣立ちの日です。別れは名残惜しいです。しかし、別れが惜しいのは、それだけ素晴らしい出会いがあったからこそです。24名の級友との出会い、先生との出会い、上級生や下級生との出会い、通学途上や体験教室でお世話になった方々との出会いです。これらの出会いを通して、皆さんは多くのことを学び、素晴らしい思い出を残しました。通学班での集団登校、委員会活動や朝行事でのリーダーシップ、陸上や水泳、運動会での活躍は「それぞれの人が自分の持てる力を精一杯発揮してこそ、一致団結できるお手本」として、深く在校生の心に刻まれたことでしょう。また、先日の6年生を送る会では、一人ひとりが「こんな中学生になりたい、こんな中学校生活を送りたい」という決意を表してくれました。皆さんの歩みは、小学校から中学校へと進むこれからが更に重要になります。東小学校での学びや思い出を胸に、各自の夢と希望に向かって羽ばたいてください。

皆さんの門出を祝し、餞の言葉を贈ります。「雨垂れ石を穿つ」 軒から落ちる雨垂れも、長い間には石に穴をあけることができる。つまり、力は小さくても、根気よくコツコツと何度も繰り返してやれば、最後には成功するという意味です。先ほどの卒業証書授与で名前が呼ばれた際、皆さんは精一杯の「ハイ」という返事ができました。これが一滴の雨垂れです。今、自分ができる精一杯を実行することです。それから皆さんの今の姿勢です。たいへん立派な態度です。集中しているからこそできるのです。集中することで、辛い姿勢も我慢することができるのです。この集中することが、石を穿つ、石に穴をあけることにつながるのです。皆さんは、これから自分らしさ、最高の自分を求めて歩み出します。最高の自分とは、夢や希望を実現させた自分

です。うまくいかないことがあってもへこたれない、なかなか道が開けなくても続ける。本気と根気で臨めば、道は自ずと開けます。

保護者の皆さん、本日はおめでとうございます。お子さんは六年間で身も心も大きく成長しました。お子さんの晴れ姿に感慨も一入と思います。お子さんが大きく成長できたのも子を思う親の気持ちが通じたからです。

結びに、ご多用にもかかわらずご臨席賜りましたご来賓の皆様、ありがとうございます。皆様あつての東小学校であります。地域の方々のご支援・ご協力があつてこそ充実した教育を施すことができます。

本日、卒業証書を手にした24名の輝かしい前途を、参列された全ての人と共に心から祝福します。

《校長室の窓から》



◇2月15日に学校評議員会を開催し、その席で学校関係者評価をお世話になりました。その中で、「保護者との連携」に関して、どの担任も週1回のペースで学級だよりを発行しており、学校や学級の様子、翌週の授業のことは各家庭に伝わっているのではないかと。行事に多くの保護者が参加している。「豊かな心」では、個人差はあるものの地域でのあいさつがよくできる。「健康・体力」では、朝食を必ず食べることは一日の始まりであり大切なことである。また、「確かな学力」に関して、漢字や音読などは宿題として継続して出してもらえると習慣づくりになる。家での過ごし方（時間の使い方）について親子で考える必要がある、という指摘をいただきました。

◇3月7日に、児童会活動として「6年生を送る会」を実施しました。全校でのゲームに始まり、1年生から順に感謝と送る言葉を発表しました。そして、5年生からは、在校生全員による寄せ書きを送るとともに、自分たちが後を引き継ぐ決意が述べられ、6年生からは、一人ひとりの中学校生活への決意が述べられました。最上級生になる5年生と、巣立つ6年生一人ひとりに大きな期待感を抱きました。



◇3月23日には第一保育園の卒園式に参列しました。たいへん立派な態度でした。来月からは本校に入学しますが、保育園で培ったものを引き継ぎ更なる成長をうながせるよう指導していきたいと、心を新たにするとともに責任の重さを痛感しました。



4月当初の主な学校行事



日時	行事名	場所	内容
4月5日 9:30~	入学式準備	体育館	新6年生が登校して準備に当たります
4月8日	始業式、入学式	体育館	児童は8時20分までに登校、給食あり 集団下校 15:00
4月8日 入学式後	PTA本部役員会	校長室	当面の事業について協議します

東小スローガン

「笑顔であいさついっぱい東小」